

主要山岳部における登山者数の動向について

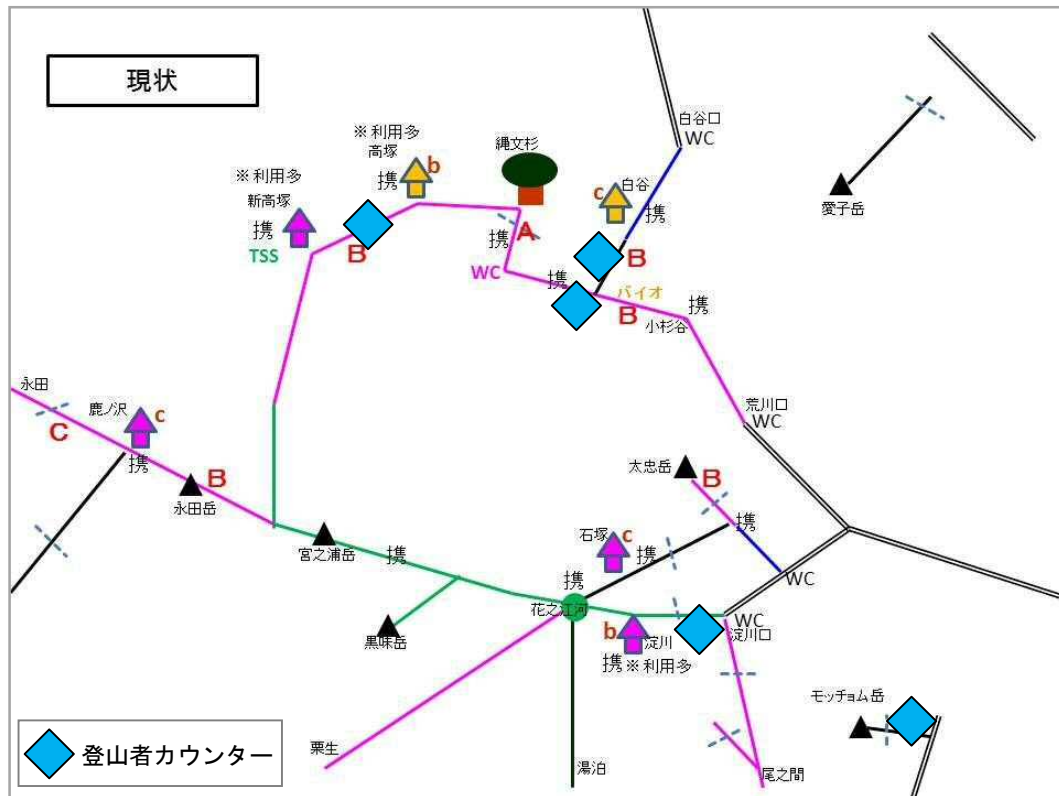
1. 概要

環境省では、平成 15 年度から縄文杉ルート（荒川登山口～縄文杉）等に登山者カウンターを設置して登山者の利用動向把握を行っている。

ここ数年の入島者の減少傾向に伴い、登山者の利用動向にも変化が見られる。以下に、利用動向の概要を示す。

2. 調査箇所等

<カウンター設置箇所>



3. 調査結果

(1) 登山者数の経年変化

登山者カウンター年別推測データ (人数)		※推測値は欠測月の前後3カ年をもとに算出									
年	地点、方向	大株		楠川		淀川		高塚		モッチョム	
		入山	下山	入山	下山	入山	下山	入山	下山	入山	下山
1999年	平成11年	14183	15642	1835	2039	7732	5603	-	-	-	-
2000年	平成12年	29717	32829	2435	4353	17035	11687	-	-	-	-
2001年	平成13年	43741	45794	6438	5973	17255	20157	-	-	-	-
2002年	平成14年	34056	38939	3798	4823	16522	13897	-	-	-	-
2003年	平成15年	40834	42738	4432	5254	17916	12301	-	-	-	-
2004年	平成16年	41866	47125	3659	4891	17203	11152	-	-	-	-
2005年	平成17年	53619	56158	3639	5325	20470	14274	-	-	-	-
2006年	平成18年	63237	63589	3482	4770	14585	11376	-	-	-	-
2007年	平成19年	67074	67779	5188	6459	14839	11372	-	-	-	-
2008年	平成20年	92609	84565	6102	7805	16490	12597	-	-	-	-
2009年	平成21年	91015	85082	5271	8375	14854	11353	1562	2942	1033	1036
2010年	平成22年	89623	83517	8741	8999	12420	9390	4458	7866	1488	1580
2011年	平成23年	82620	78205	8686	9114	12463	9326	3887	7166	N.D.	N.D.
2012年	平成24年	83862	82898	9086	9130	13322	9922	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
2013年	平成25年	83466	85025	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	3779	7307	N.D.	N.D.
2014年	平成26年	74402	75732	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
2015年	平成27年	59691	58564	6280	7083	13240	9679	2540	5877	1223	1203

① 縄文杉ルート (荒川登山口・白谷雲水峡⇄縄文杉方面)

- ・2015年は約60,000人が利用。うち、白谷雲水峡から縄文杉方面への入山者は約6,000人。
- ・2008年から減少傾向に転じ、2015年は2006年並みまで減少。

② 宮之浦岳ルート (淀川登山口⇄宮之浦岳方面)

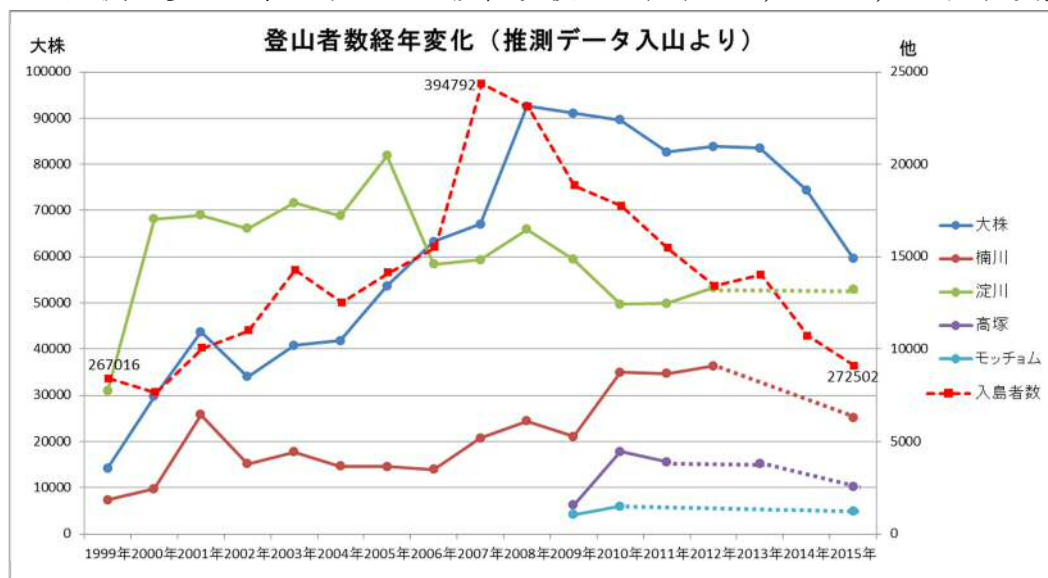
- ・欠測期間があるものの、2010年以降は13,000人前後で横ばい傾向。このうち、3,000人程度が宮之浦岳往復ではない行程の登山者と推定される。

③ 宮之浦岳・縄文杉縦走ルート (淀川登山口⇄新高塚小屋⇄縄文杉方面)

- ・登り下り延べ10,000人程度の通行者。
- ・ただし、淀川カウンターの数値を考慮すると下りは誤差がある可能性。

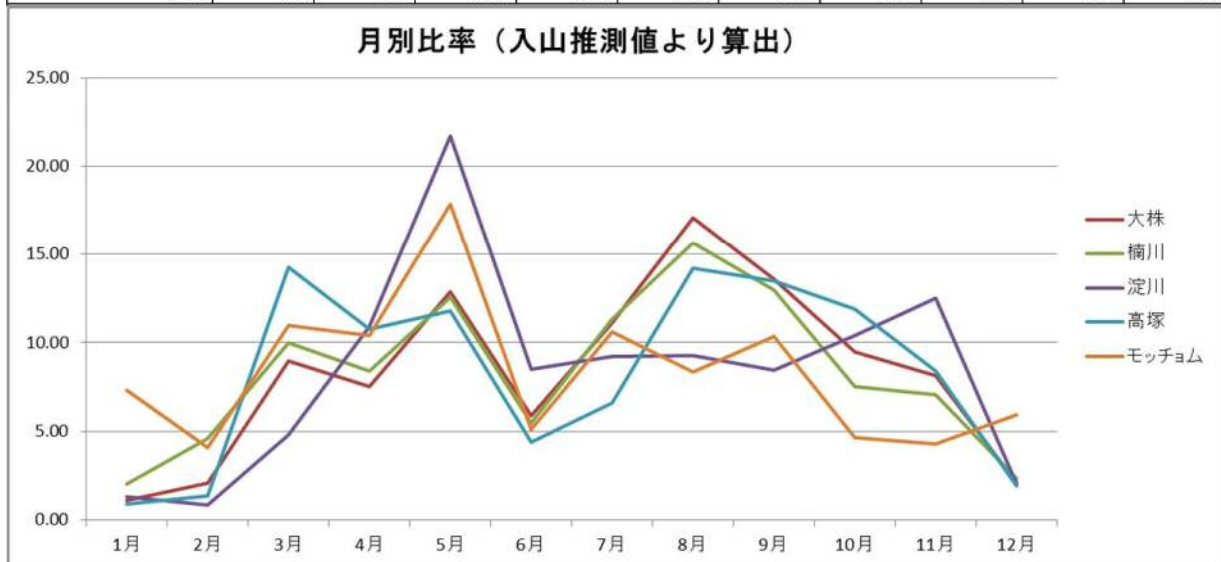
④ モッチョム岳 (モッチョム岳登山口⇄万代杉・モッチョム岳)

- ・欠測が多いが、カウンター設置以後の入山者は1,000～1,500人程度。



(2) 入山者数の月ごとの比率

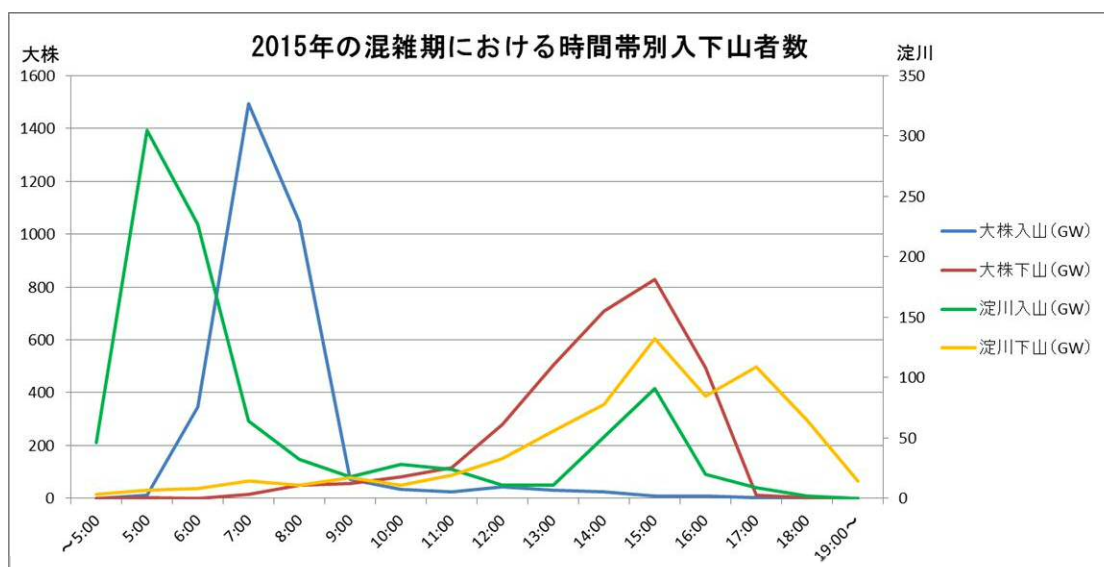
登山者カウンターデータ月別比率 (%)			※比率は推測データの1999～2015までの平均を基に算出							
月	大株		楠川		淀川		高塚		モッチョム	
	入山	下山	入山	下山	入山	下山	入山	下山	入山	下山
1月	1.11	1.09	2.04	1.67	1.32	1.45	0.90	0.51	7.31	7.25
2月	2.07	1.96	4.61	3.18	0.85	1.01	1.36	1.04	4.11	4.02
3月	8.99	8.47	10.01	9.22	4.81	5.61	14.24	7.91	10.99	11.24
4月	7.52	7.55	8.43	8.54	10.95	10.60	10.77	9.82	10.40	10.69
5月	12.86	13.56	12.57	15.85	21.73	21.16	11.80	19.19	17.84	18.10
6月	5.89	5.95	5.45	5.68	8.48	8.79	4.41	5.13	5.12	4.92
7月	11.14	11.14	11.31	10.35	9.23	9.42	6.59	6.35	10.63	10.68
8月	17.08	16.50	15.65	14.54	9.25	9.83	14.21	13.24	8.37	8.75
9月	13.62	13.78	13.00	12.34	8.43	8.09	13.49	14.74	10.37	10.36
10月	9.47	9.69	7.52	8.62	10.40	9.98	11.90	10.66	4.63	4.53
11月	8.15	8.28	7.09	7.91	12.52	11.96	8.40	9.97	4.31	3.92
12月	2.10	2.02	2.33	2.10	2.02	2.11	1.94	1.44	5.91	5.55



- ① 縄文杉ルート (荒川登山口・白谷雲水峡⇄縄文杉方面)
 - ・ 7月、8月、9月及び5月の入山が大半を占める。
- ② 宮之浦岳ルート (淀川登山口⇄宮之浦岳方面)
 - ・ 5月の登山者が多い。シャクナゲ開花によるものと推定される。
- ③ 宮之浦岳・縄文杉縦走ルート (淀川登山口⇄新高塚小屋⇄縄文杉方面)
 - ・ 3月から5月、8月から10月の割合が高い。
- ④ モッチョム岳 (モッチョム岳登山口⇄万代杉・モッチョム岳)
 - ・ 3月から5月の割合が高い。
 - ・ 奥岳と比較して、冬季(12月、1月)の入山者が割合が高い。

(3) 縄文杉ルート、宮之浦岳ルートの入下山時間帯

地点、期間 時間帯	大株GW (5/1~5/5)		淀川GW (5/1~5/5)	
	入山	下山	入山	下山
~5:00	0	0	46	3
5:00	11	3	305	7
6:00	345	0	227	8
7:00	1493	15	64	14
8:00	1047	50	32	11
9:00	73	57	18	17
10:00	35	82	28	11
11:00	23	117	24	19
12:00	45	279	11	33
13:00	32	504	11	56
14:00	24	709	51	78
15:00	9	830	91	132
16:00	10	496	20	85
17:00	3	13	9	109
18:00	0	4	2	65
19:00~	0	0	0	14



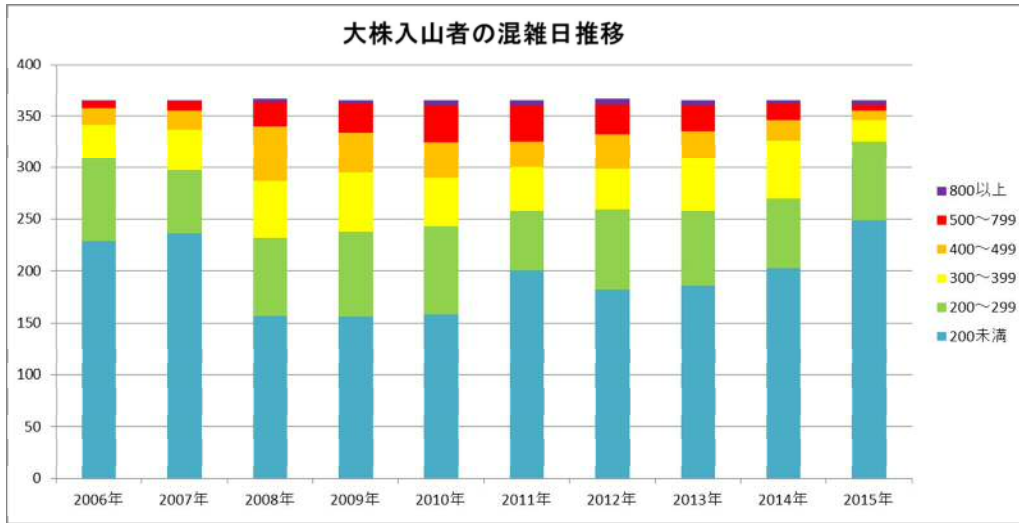
① 縄文杉ルート (荒川登山口・白谷雲水峡⇄縄文杉方面)

- ・荒川登山口からの入山は、マイカー規制により 5 時 30 分頃～6 時 30 分頃に限定される。

② 宮之浦岳ルート (淀川登山口⇄宮之浦岳方面)

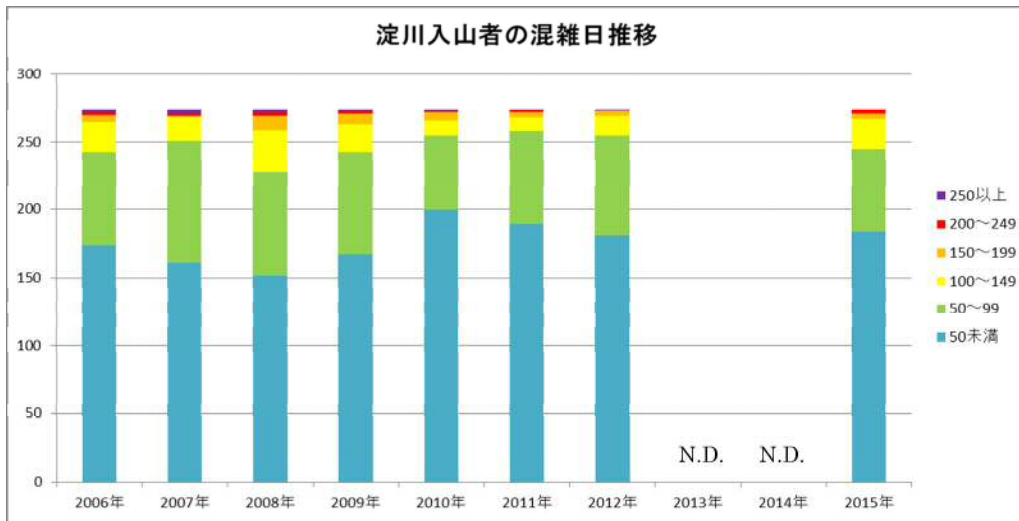
- ・5:00 から 6:59 の間に入山し、15:00 から 17:59 の間に下山する傾向。

(4) 縄文杉ルート、宮之浦岳ルートの利用状況の推移



<2015 年の縄文杉ルートの状況>

- ・ やや混雑日 (300~399 人/日) 以上の日は 39 日。2006 年は 55 日。
- ・ 混雑日 (400~499 人/日) 以上の日は 19 日。2006 年は 23 日。
- ・ 大混雑日 (500 人以上/日) 以上の日は 10 日。2006 年は 8 日。
- ・ 超混雑日 (800 人以上/日) の日数は、4 日。2006 年は 1 日。



※淀川カウンターは 3~11 月のデータで作成

<2015 年の縄文杉ルートの状況>

- ・ 50 人未満/日、50~99 人/日の日が多い傾向は変わらない。
- ・ 100 人以上/日の日数は 30 日。2006~2012 年は 17~47 日で推移。
- ・ 200 人以上/日の日数は 4 日。2006~2012 年は 2~6 日で推移。
- ・ 250 人以上/日の日数はなし。2006~2012 年は 1~4 日で推移。

携帯トイレ利用状況モニタリングについて

1. 概要

環境省では、平成 22 年度の携帯トイレ導入開始以降、淀川登山口においてアンケート調査により携帯トイレの普及状況について調査を行っている。

アンケート結果から、携帯トイレの普及啓発は徐々に浸透してきていることが伺える。以下に結果概要を示す。

2. 調査内容

(1) 実施場所 淀川登山口 (下図参照)



(2) 実施期間

平成 22 年度	9/18-25	計	8 日間
平成 23 年度	4/29-5/6、6/4・5、9/24・25、10/8-10	計	15 日間
平成 24 年度	4/28-5/6、8/11-8/15、9/15、10/6・7	計	15 日間
平成 25 年度	4/27-30、5/3-6、8/15-17、9/15・16、9/21・22、10/12・13	計	17 日間
平成 26 年度	4/27-29、5/2-6、8/10-16、9/13-15、11/2	計	19 日間
平成 27 年度	5/2-6、8/10-16、9/20-22、10/10・11、10/31-11/2	計	20 日間

(3) 実施時間 4 時 30 分～8 時、10 時～15 時の 8 時間 30 分程度

(4) アンケート記載事項

- ・アンケート実施時間 ・ガイド有無 ・男女人数（ガイド除く）
- ・年齢層（20 代/30 代/40 代/50 代/60 歳以上）
- ・居住地域（北海道/東北/関東/北陸/東海/関西/中国四国/九州/沖縄/海外/島内）
- ・コース（宮之浦岳日帰/黒味岳日帰/その他日帰/縦走 1 泊/縦走 2 泊以上/その他山泊/左記以外）
- ・携帯トイレ携行数（アンケート実施時に持っていた数）
- ・携帯トイレ購入数（アンケート実施後に購入した数）
- ・山岳部保全募金への協力の有無 ※平成 25 年度から

注) アンケート調査実施時に、併せて山岳部のトイレ状況、携帯トイレ導入経緯の説明、携帯トイレの購入推奨、携帯トイレの使用方法、ブースや回収ボックスの位置、山岳部保全募金の説明と協力呼びかけを行っている。

3. 調査結果と評価

(1) 調査結果

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	(2010)	(2011)	(2012)	(2013)	(2014)	(2015)
	8日間	15日間	15日間	17日間	19日間	20日間
アンケート実施数	220	401	661	568	503	348
携帯トイレ携行グループ数	57	195	384	362	370	269
〃 未携行グループ数	163	206	277	206	133	79
携帯トイレ携行率	26%	49%	58%	64%	74%	77%

※平成 22 年度調査は、携帯トイレ導入初年度。

(2) 評価

携帯トイレ携行率は、導入開始年度（22 年度）と比較すると浸透してきたことが伺える。

(3) 今後の課題

今後は、携帯トイレの携行率ではなく、携帯トイレの使用率の把握と向上を図ることが必要と考えられる。